

理学の本棚

「気候変動を理学する」

多田 隆治 (地球惑星科学専攻 教授)

07

近年、地球温暖化を初めとする人間活動の気候、環境への影響が顕在化するに連れて、世界や国の資源とエネルギー消費のあり方について、一般市民が待たない選択を迫られる場面が増えてきている。そうした選択を悔いなく行うためには、一人一人が人間活動の気候、環境への影響のメカニズムを理解した上で、提示された選択肢の妥当性を判断する必要がある。しかし、現状では、根拠となる「科学的」証拠の妥当性を判断するに十分な知識が、一般市民に解りやすい形で与えられていない。専門家の説明は正確で客観的だが、難しく理解しづらいいっぽう、通俗科学本の多くは、結論のみを主観的に示し、結論に至った科学的検証過程や他の可能性との客観的比較などは示されていない。

筆者は、そうした現状に危機感をもち

ていたが、タイミング良く、同様の考えをもった日立環境財団の方からサイエンスカフェへのお誘いがあり、2011年に、計5回に渡って講演した。その時の講演、質疑録を元に書き起こしたのが本書である。参加された聴衆の大部分は理系の大学出身者で、他分野の現役研究者なども居られ、かなりレベルの高い議論がなされたが、専門外の方に背後にある論理も含めて理解していただく事の難しさを改めて痛感させられた。熱意あふれる若手編集者の、素人の視点に立った指摘に助けられつつ、1年近くをかけて何とか原稿を完成させた。

編集部には、「理学する」という言葉が一般人に馴染みがなく、受け入れられないのではないかとという危惧もあったようだが、それは杞憂に終わったようだ。「理学する」という言葉に、世の流れに

安易に迎合せず、俯瞰的視点から極力客観的、論理的に説明をしたいという思いを込めたつもりである。大学教養レベルを想定してなるべく数式や化学式を使わず、わかり易く書いたので、専門外の方にも、ぜひご一読いただきたい。



多田隆治 著「気候変動を理学する」みすず書房 (2013年出版) ISBN 978-4-622-07749-7

東京大学理学部オープンキャンパス 2014

広報委員会

毎年ご好評をいただいております理学部オープンキャンパスは今年も2日間にわたり開催されます。多くの方々が理学部の活動と魅力を共有することができるよう願っております。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

【日時】2014年8月6日(水) 13:00~16:30 (プレオープン・半日開催)

8月7日(木) 10:00~16:30 (メイン開催日・全日開催)

【場所】東京大学本郷キャンパス 理学部1号館(理学部受付)

【参加】事前登録なしでどなたでも参加することができます。

詳しくは理学部HPをご覧ください。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/event/open-campus/2014/>

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
2014年4月21日付学位授与者(1名)			
課程	地惑	土屋 主税	高解像衛星観測データに基づく成層圏大気重力波のクライマトロジー、季節内変動および年々変動の研究(※)
2014年5月19日付学位授与者(5名)			
論文	化学	小島 達央	C ₃ 対称パイ共役系の選択的構築法の開発(※)
課程	地惑	望月 貴史	生痕化石の多様化から探るカンブリア紀最前期の動物活動の古生態学的解明(※)
課程	生化	越前佳奈恵	検体由来膠芽腫細胞を用いた膜たんぱく質PCDH10の機能解析
課程	生科	矢田 紗織	哺乳動物 <i>Brn-2/Pou3f2</i> 分子進化と脳の機能に関する研究 - 両生類型 <i>Brn-2</i> ノックインマウスから脳の進化を探る - (※)
課程	生科	佐久間 啓	北西太平洋におけるマユガジ亜科深海魚の進化過程(※)
2014年5月31日付学位授与者(1名)			
課程	生化	岡田 直幸	分裂酵母の微小管結合タンパク質複合体Alp7-Alp14(TACC-TOG)の局在制御機構

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2014.5.31	物理	助教	平原 徹	退職	東京工業大学大学院理工学研究科・准教授へ
2014.6.1	地惑	教授	高橋 嘉夫	採用	広島大学大学院理学研究科・教授から
2014.6.1	原子核	准教授	今井 伸明	採用	高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所・助教から
2014.6.1	フォトン	助教	小西 邦昭	採用	
2014.6.30	物理	助教	岡崎 浩三	退職	物性研究所・特任准教授へ
2014.6.30	生科	助教	西 賢二	退職	
2014.6.30	情報	特任専門職員	宇根 真	退職	
2014.6.30	経理	経理チーム係長	横山 弘光	退職	
2014.7.1	物理	助教	芝田 悟朗	採用	
2014.7.1	物理	助教	道村 唯太	採用	
2014.7.1	総務	総務系専攻チーム係長(地惑)	濱田真実子	配置換	研究推進部本部博物館事業課係長へ
2014.7.1	経理	研究支援・外部資金チーム係長	森 裕太	配置換	生産技術研究所経理課連携研究支援室企画チーム係長へ
2014.7.1	経理	経理系施設チーム係長(植物園)	鈴木 智明	配置換	医学部附属病院管理課研究支援地チーム係長へ
2014.7.1	総務	総務系専攻チーム係長(地惑)	三家本めぐみ	昇任	研究推進部本部博物館事業課主任から
2014.7.1	経理	研究支援・外部資金チーム係長	峯 貴志	配置換	医科学研究所研究支援課外部資金戦略チーム係長から
2014.7.1	経理	経理系施設チーム係長(植物園)	正津 玲奈	復帰	放送大学教育研究支援部図書情報課管理係長から

あ と が き

この7月号をもちまして編集委員から退くこととなりました。私はおもにデザインの担当でしたが、心がけたのはデザインとしての基本的な部分、つまり「きちんと伝えること」です。具体的には文章の読みやすさや企画に沿ったページデザインなどですが、いかがだったでしょうか。

編集委員会に事件が・・・レイアウト、デザインに多大な貢献をされた、宇根真さんが退職されることに(宇根さんの後書きをご覧ください)。その宇根さん最後の理学系研究科・理学部ニュース7月号をお届け

好きだった連載は「理学のキーワード」で、理学部で扱う内容が非常に多岐にわたることを再認識しました。東日本大震災の特集では放射能関連のキーワードを掲載しましたが、まさにその一面が見えたのではないかと思います。これはほかの学部ではなかなかできないと思います。

いたします。本号から新企画「知と技の交差点」が紙面を飾りますので、ネタ・アイデアをお持ちの方はご一報ください。この後書きを読まれている方には緑のない話ですが、ある日の午後、事務室から各研究

委員長の横山央明先生そして前委員長の牧島一夫先生をはじめ、編集委員の方々のおかげでこの4年間を務め上げることができました。ありがとうございました。

理学系研究科・理学部の今後ますますのご発展をお祈りしております。
宇根 真(情報システムチーム 特任専門職員)

室へ人数分を束ねた理学部ニュースが配布されました。直後、束のまま廊下の紙類ゴミ箱に鎮座していました。紙はリサイクルされるとは言え・・・哀しい。

石田 貴文(生物科学専攻 教授)

東京大学理学系研究科・理学部ニュース 第46巻2号 ISSN 2187-3070

発行日: 2014年7月20日

発行: 東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集: 理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明(地球惑星科学専攻, 編集委員長)

安東 正樹(物理学専攻)

石田 貴文(生物科学専攻)

對比地孝亘(地球惑星科学専攻)

福村 知昭(化学専攻)

横山 広美(広報室)

國定 聡子(総務チーム)

宇根 真(情報システムチーム)

武田加奈子(広報室)

印刷: 三鈴印刷株式会社

本ニュースはインターネットでもご覧になれます。

東京大学 理学部ニュース

検索

